

科学新聞

週刊

(金曜日発行)

発行所 科学新聞社

本社 (〒105-0013)

東京都港区浜松町1-2-13

電話 03-3434-3741

FAX 03-3434-3745

mail:edit@sci-news.co.jp

振替 00170-8-33592

第8回 日本学術振興会賞に24氏

日本学術振興会(安西祐一郎理事長)は、日本学術振興会賞審査会(委員長江崎玲於奈・茨城県科学技術振興財団理事長)の審査に基づいて、第8回(平成23年度)日本学術振興会賞の受賞者24人を決定した。

日本学術振興会賞は、将来の学術研究のリーダーとして、後のノーベル賞候補者となるようなフレッシュな研究者をいち早く顕彰することで、今後の研究にチャンスを与え、ブレークスルーを促そうとするもの。受賞者には賞牌と副賞として研究奨励金110万円が贈呈される。

今回は、自然科学から人文・社会科学にわたるあらゆる分野を対象としている同賞ならではの研究者24人に授与される。自然科学系では、マウスにおいて肌や毛の色のもととなる色素幹細胞を同定、幹細胞が維持される分子機構を明らかにし、白髪・脱毛などの老化現象の理解などに貢献した研究者らが選考された。人文・社会科学系では、日本古代史の研究において貴重な資料である木簡を詳細に分析することで、都城を中心とする日本古代の交通制度の実態を解明した研究者らが選考された。

なお、これら24人の受賞者の中から、日本学士院学術奨励賞の受賞者が選ばれる。2月27日に、東京・上野公園の日本学士院で、日本学術振興会賞と日本学士院学術奨励賞の授賞式が同時に行われる予定。

骨の特性決める重要因子解明

◇中野貴由・大阪大学大学院 工学研究科教授



「材料工学的視点から骨の微細構造ならびに骨配向化機構の解明、骨配向化制御にまで深化させ、骨系細胞レベルの骨配向化制御因子を発見するとともに、骨配向化が促進されるような新規概念からなる骨代替材料の設計・開発に

代替材料への複合領域型研究」

中野氏は、異方性構造を持つアパタイト結晶の配向性が、骨の強度をはじめとする様々な特性を支配する重要な因子である